

巨大雪ダルマに夢を 南米ブラジルに

社から水漏れ対策や積載重量の問題など改善を求められました。幾多の課題を乗り越えて、(株)JALカーゴセールスから正式な許可が出たのは12月14日でした。

雪ダルマが完成

雪不足もプロジェクトチームを悩ませ、新雪を求めて追分中学校のグラウンドに積もった雪を特注の木箱の中に入れました。

1月20日にはスポーツセンター前で町内外から約100人の方が参加し、雪ダルマを制作。研修のため北海道に来ている日系ブラジル人14人も加わり、雪ダルマ作りを体験しました。

1月27日のブラジルに向けての出発セレモニーに使う巨大雪ダルマも完成。サンパウロの会場に置かれるものと同じサイズです。

本体は1月21日にすでに現地に到着しており、イベント会場場で披露される日を待っています。

サンパウロでは、現地の実行委員会のメンバーと最終打ち合わせを行い2月10日のイベントに参加する予定です。

今回のプロジェクトに安平町出身の演歌歌手の正木はじめさんも同行。夢を託した安平産の雪ダルマとともにブラジルとの交流の架け橋になることが期待されます。



指導を受けながら雪ダルマ作りにチャレンジ



親子で雪ダルマ作りに参加



雪ダルマ像の前での豆まき



追分中学校グラウンドで巨大雪ダルマ作り